

# 女性じょせいの体からだと健康けんこうについて知ろう!

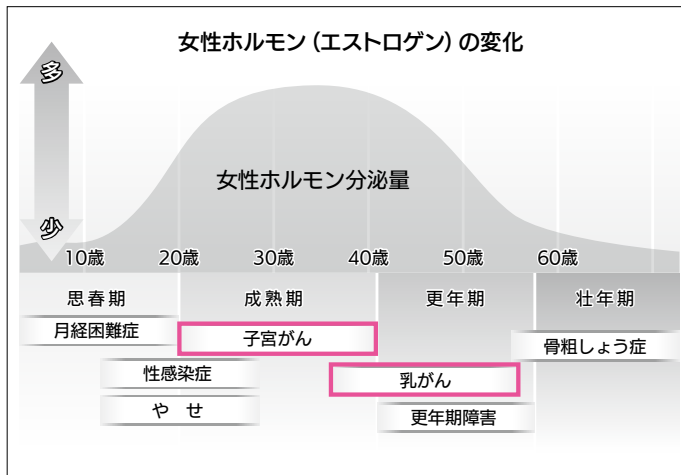
こんにちは  
保健師  
です!



## 女性ホルモンの働きとは?

女性ホルモンには2種類あり、この2つのホルモンの働きによりさまざまな体の変化が訪れます。

- エストロゲン 血管や骨を強くする、肥満の予防や悪玉コレステロールを減らすホルモン
- プロゲステロン 妊娠に関わるホルモン



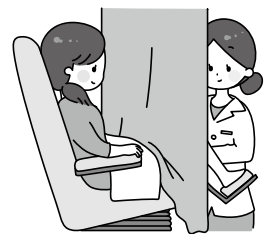
図のように生涯の中で女性ホルモンの分泌量は変化し、それに伴い体の変化や不調が現れます。また、子宮頸(けい)がんや乳がんなどの女性特有のがんについては、市のがん検診で体の状態を知ることができます。年代による体の変化を知り、検診を受けながら健康管理をしましょう。

女性ホルモンを作っている卵巣は、20~30歳代で働きが活発になり、ホルモン量もピークを迎えます。40歳代半ばにはホルモン量が急速に減少し、50歳ごろに閉経を迎えます。

## 子宮頸がんけいってどんな病気?

20歳代から増えているがんで、HPV(ヒトパピローマウイルス)が原因で発症します。HPVは性交渉の経験があれば感染している可能性があり、一部の人で感染が持続し数年から十数年をかけて子宮頸がんを発症します。しかし、早期のうちに治療すれば90%以上が治り、子宮を摘出せずに治療できるため妊娠や出産も可能になります。

- 子宮頸がん検診**
- 対象 20歳以上の女性(2年に一度の検診です)
  - 内容 問診、視診、細胞診(綿棒のようなもので子宮の入り口の細胞を採り、調べます)
  - 料金 500円(70歳以上、住民税非課税世帯、生活保護世帯は無料)



## 乳がんにゅうがんってどんな病気?

乳がんの発症には、女性ホルモンが大きく影響しており40歳代から増えています。また、乳がんは女性のがんで最も多く、11人に1人が乳がんになると言われています。乳がんを早期発見するために、2年に1回のマンモグラフィー検査と月に1回の自己触診を行いましょう!

- 乳がん検診**
- 対象 35歳以上の女性(2年に一度の検診です)
  - 内容 問診、マンモグラフィー(乳房専用のレントゲンです)
  - 料金 35~49歳は1,200円、50~69歳は1,000円(70歳以上、住民税非課税世帯、生活保護世帯は無料)



がん検診は集団健診で2月まで実施しています!  
ハガキまたは市ホームページから申し込みください。  
右の二次元コードからもアクセスできます。  
市ホームページ⇒分類から探す(健康・子育て・福祉)⇒健康・検診⇒集団検診申し込み



■問い合わせ先 健康推進課(カミーリヤ内) ☎(920)8611